

平成26年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落協定の概要

都道県名：沖縄県  
 市町村名：宮古島市  
 島名：宮古島  
 協定締結集落名：宮古島漁業集落  
 交付金額：4,261千円  
 協定参加世帯数：56人（うち漁業世帯32人）  
 集落漁業者平均所得：1,330千円

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、好漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や創意工夫を活かした取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、宮古島集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

◇種苗放流（シラヒゲウニの放流）

水産資源の維持・回復に向けシラヒゲウニの放流を実施。

実施日	実施海域	放流匹数
H27.2.25	真那津地区	5,000個

実施状況写真



種苗積込状況



種苗放流状況

◇海岸清掃

漁場の環境保全に向け海岸清掃を実施。

実施状況写真



作業状況



集積されたゴミ

◇その他（サメ駆除）

漁業被害をもたらしているサメの駆除を実施。

実施状況写真



駆除の状況



駆除されたサメ

◇オニヒトデ駆除

小型定置網やモズク養殖の操業の支障となっているオニヒトデ駆除を実施。

実施日	実施海域	駆除人数	駆除重量
H26.10.27	狩俣湾内	6人	— (事前調査で確認できた相当数の個体が実施時においては皆無であった。)

実施状況写真



駆除の状況



集積状況

## ②集落の創意工夫を生かした取組状況

### ◇新規漁業の着業

新規漁業の着業に向けた視察研修（一人乗りマグロ延縄漁業）を実施。

### ◇新規養殖業の着業

新たな養殖業の着業に向け、キリンサイの試験養殖を実施。

### ◇高付加価値化

宮古島産のヒトエグサやモズク等の高付加価値化を図るため、県内外の漁協、生産者、事業者等への視察及び意見交換を実施。

調査・意見交換等を実施。

実施状況写真



事業者との意見交換(宮城県)



事業者との意見交換(宮城県)

### ◇伝統漁法の復元

追い込み網漁業の復元に向け、網の製作委託、子供達への漁業体験指導を実施。

実施状況写真



納品された網



漁業体験指導の様子

◇その他（体験漁業の取組）

宮古島の漁業の魅力発信に向け、小中高生向けにアーサ（ヒトエグサ）収穫体験及び追込み網漁体験を実施。

実施状況写真



収穫体験の様子



追込み網漁体験の様子

#### 4. 取組の成果

シラヒゲウニ放流により水産資源の維持・回復が見込まれ、放流漁場での漁業の継続性に繋がる。

海岸清掃の実施により、近接する漁場の環境保全及び改善が図られた。

サメ駆除の実施により漁業被害の軽減が見込まれ、また、オニヒトデ駆除により、漁場となるサンゴ礁の保全や就労時における安全確保が図られ、生産力の向上が期待できる。

創意工夫を活かした取組のうち、新規漁業の着業による複合型経営の定着、高付加価値化による漁獲物販売の安定化とを総合的につなげることで漁業所得の向上が期待できる。また、伝統漁法の復元と連動した体験漁業の取組を実施することで漁業の魅力発信や子供達が漁業と触れあえる機会が創出できたことから、将来に向けた後継者確保のための啓発につながった。